

病院年報

2023 年度



医療法人 友仁会
友仁山崎病院

こころふれ合う

安心と納得の医療

2023年4月1日~2024年3月31日



目次

■ 医療サービスの質方針	2	【事務部】	
■ 病院長ごあいさつ	3	予防医学課	2 4
■ 病院概要	4	地域連携室	2 5
■ 沿革	6	【事業所内保育所】	
■ 診療科・部門紹介		かるがも保育所（認可園）	2 5
【診療部】		■ 委員会活動	
内科・消化器内科／	8	医療安全委員会	2 6
消化器内視鏡センター		RMT 委員会	2 7
循環器内科	8	院内感染防止対策委員会	2 7
消化器外科	9	薬事委員会	2 8
整形外科	9	レジメン委員会	2 8
脳神経外科 [もの忘れ外来]	1 0	NST 委員会	2 8
泌尿器科	1 1	業務委員会	2 9
腎不全・透析センター	1 1	透析機器安全管理委員会	2 9
放射線科	1 2	透析センター会議	2 9
予防医学センター	1 2	診療情報管理委員会	2 9
【看護部】		サービス向上委員会	3 0
看護部	1 3	質管理委員会	3 0
【薬剤部】		検体検査委員会	3 1
薬剤科	1 8	退院調整委員会	3 1
【栄養治療部】		■ ISO について	3 2
栄養科	1 8	■ 業績	3 3
【診療技術部】		■ 統計資料	3 4
画像診断科	1 9		
臨床工学科	1 9		
リハビリテーション科	2 0		
生理検査科	2 0		
【入退院支援部】			
入退院支援室／医療相談室	2 1		
【事務部】			
総務課	2 2		
車両施設課	2 3		
医事課	2 3		



基本方針

■ 医療サービスの質方針

当院は、患者さんお一人おひとりに最適な医療サービスを受けていただくために、医療サービス提供の仕組みが有効であり続けるよう継続的に改善してまいります。

1.最新かつ最良な医療

◎最新の医療技術の積極的な導入、患者さんお一人おひとりへの最良の医療サービス提供に取り組むことで、地域に貢献してまいります。

2.安全な医療

◎医療事故、院内感染が生じない院内体制作り、職員教育に努めます。

3.患者さん満足と職員満足の実現

◎患者さんには医療サービスに対する満足感を、職員には働きがいを提供できる職場作りに取り組みます。

◎職員自身が誇れる医療サービスの提供、職員自身が受診したいと思える病院作りに取り組むことで患者さんに満足いただける医療サービスを提供してまいります。

■ 2023 年度品質方針

- 1.全職員による経営健全化への意識と参画
- 2.全ての部署におけるワークライフバランスの向上
- 3.多職種が参加する医療安全文化の浸透
- 4.理論的な感染対策の実施



病院長ごあいさつ

2023 年度版発刊にあたり

病院長

高橋 雅士

今年度も医療法人友仁会友仁山崎病院の年報を発刊することができました。

2023 年度に病院にとって大きな問題となったことは、看護師・看護助手の例年ない辞職の多さで、このために病棟運用の一部を制限せざるを得ず、大幅な収益減につながりました。これは、当院に限ったことではなく、近隣の病院も同じ理由で病棟の運用が困難になり、部分的な病棟閉鎖に追い込まれています。コロナ禍で疲弊した看護職の人たちが現場を去っていった、夜勤などのない職場に異動していった、あるいは看護職自体を辞めて他の職業に移っていった、など様々な要因が考えられていますが、実際のところ本質的に何が生じているのかの全体像はつかめていません。若年人口は大きく減少しつつあり、多くの看護学校が定員割れの事態となっています。また、県内の看護大学の卒業生は、京都・大阪などの大都市に流れている事実もあります。湖東圏域の病院の看護部長さんたちは、中学生や高校生を対象に看護の魅力を伝える活動を始めていますが、その成果は長期的な視点で見えていく必要があります。国は、医師偏在対策には力を入れていますが、全国で広がっている看護職不足の認識はあまりないようです。湖東圏域は、人口あたりの医師数が全国平均を大きく下回っていますが、ここに看護職不足が追い打ちをかけている状況です。打開策は見いだせていません。今は、他部署からの応援などでギリギリの看護業務を続けていますが、いつまでこの状況を継続できるのかは予断を許さない状況です。

年報は、病院職員の様々な活動を記録する貴重なものです。我々医療者は、患者の健康と命を守るという使命を持っていますが、そのためには様々な学術的行動が伴わなければなりません。又、常に、自らの医療者としての活動をモニターしていかなければなりません。年報はそれらを反映する重要な記録と考えています。

どうか、今年も年報をご覧になって、山崎病院の“今”をご理解いただくための助けにさせていただきたいと思います。

今後とも医療法人友仁会友仁山崎病院をよろしく願います。

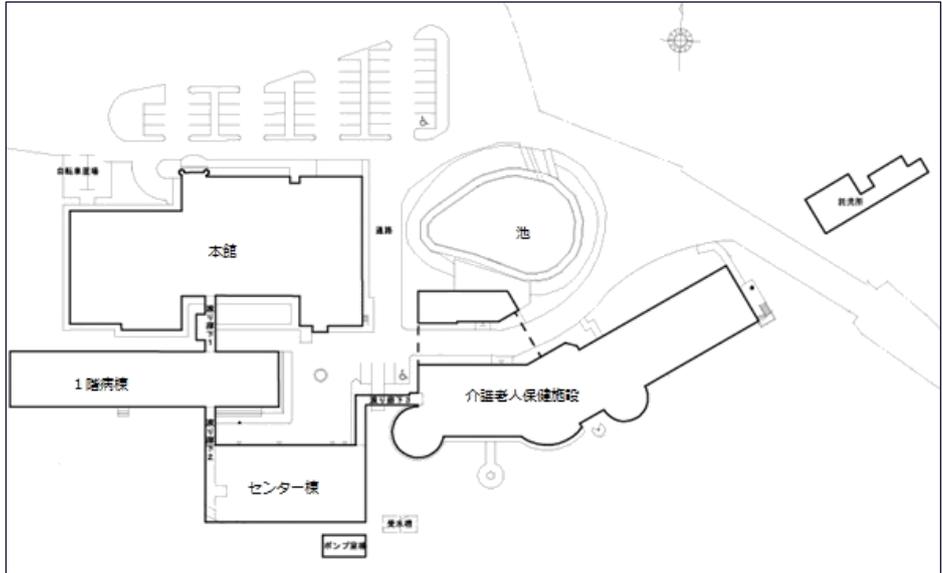


病院概要

施設名称	医療法人友仁会 友仁 山崎病院
所在地	〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町 80 番地
TEL & FAX	TEL.0749-23-1800 (代表) FAX.0749-23-1928
ウェブサイト URL	https://www.yujin-yamazaki.co.jp/
mail	info@yujin-yamazaki.co.jp
開設開院	開院 1985 年 9 月 7 日 (1997 年 1 月 医療法人友仁会設立)
開設者	医療法人友仁会 理事長 矩 照幸 (かねてるゆき)
管理者	友仁 山崎病院 病院長 高橋 雅士
病床数	157 床 (一般 100 床/療養 57 床)
指定医療機関等	保健医療機関、労災保険指定医療機関、厚生医療指定医療機関、 身体障害福祉法指定医、生活保護法指定病院、救急指定病院、 結核指定医療機関、難病医療費助成指定医療機関、 特定疾患治療研究事業指定医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱、 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
認定施設	日本消化器内視鏡学会認定指導施設病院 日本消化器外科専門医修練施設関連施設 日本外科学会外科専門医制度関連施設
施設基準	急性期一般入院料 5、療養病棟入院基本料 1、救急医療管理加算、診療録管理体制 加算 1、40 対 1 医師事務作業補助体制加算 1、急性期看補助体制加算、療養環境加 算、療養病棟療養環境加算 1、医療安全対策加算 2、感染対策向上加算 3、患者サポ ート体制充実加算、連携強化加算、サーベイランス強化加算、後発医薬品使用体制加算 1、データ提出加算、入退院支援加算 1、認知症ケア加算 1、せん妄ハイリスクケア加算、 地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括ケア入院医療管理料 1、看護職員処遇改善 評価料 4 5、入院時食事療養/生活療養(Ⅰ)、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交 換術、糖尿病合併症管理料、糖尿病透析予防指導管理料、外来化学療法加算 1、がん 治療連携指導料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料 1、別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の(3)に規定する在宅療養支援病院、在宅維持陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリ ング加算、検体検査管理加算(Ⅱ)、神経学的加算、CT 撮影及び MRI 撮影、外来腫瘍 化学療法診療料 1、無菌製剤処理料、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)、運動器リ ハビリテーション料(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)、人工腎臓、導入期加算 1、透析液 水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、心臓ペ ースメーカー指導管理料、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術、酸素の購入単価
施設概要	敷地面積 18,006.6 m ² 建物 本館 (地上 6 階) 5,906 m ² /1 階病棟 (別棟) 827 m ² / センター棟 (地上 3 階) 2,011 m ²
駐車台数	病客用 250 台



病院概要

診療科等	<p>◇診療科 内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、整形外科、 脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科</p> <p>◇専門外来 腎不全外来、腎臓糖尿病外来、糖尿内分泌外来、もの忘れ外来</p> <p>◇特設部門 消化器内視鏡センター、透析センター、予防医学センター</p>
関連施設	<p>山崎外科医院</p> <p>事業所内保育所 かるがも保育所（認可園）</p> <p>介護老人保健施設アロフエンテ彦根</p> <p>友仁訪問看護ステーションすずらん</p> <p>友仁訪問看護ステーション河原町</p> <p>訪問リハビリステーション オリーブ</p> <p>友仁ケアプラン支援センター</p> <p>彦根市地域包括支援センター</p> <p>看護小規模多機能型居宅介護ナースングホームすずらん</p> <p>訪問看護ステーションすずらん高宮</p> <p>彦根市ふたばデイサービスセンター</p> <p>彦根市佐和山デイサービスセンター</p>
その他認証等	<p>ISO9001:2015 (登録事業範囲 医療サービスの提供/認証番号 25553/初認証 2005年3月)</p>
施設配置	



沿革

1967年(S42)	12月	山崎時雄が山崎外科医院を開院（彦根市河原三丁目）
1985年(S60)	09月	友仁山崎病院開院 [117床]（彦根市竹ヶ鼻町） 肥後昌五郎院長就任 人間ドック友の会「友仁会」発足
1986年(S61)		山崎時雄院長就任 優良人間ドック指定病院認定／救急指定病院認定
1988年(S63)	09月	産婦人科開設 [16床増]
1989年(H1)		第一回健康祭り開催（医学講演会／ゴルフ大会／ゲートボール大会／バレーボール大会／少年サッカー大会）
1990年(H2)		1階病棟増築 [44床増] ／リハビリセンター開設 MRI 導入
1992年(H4)	11月	かるがも保育所独立棟開所
1995年(H7)	07月	消化器内視鏡センター開設
1997年(H9)	01月	医療法人友仁会設立
	10月	山崎時雄理事長就任
1998年(H10)	04月	山本明院長就任
	07月	センター棟新築（消化器内視鏡センター／透析センター／厨房センター移設）
	09月	介護老人保健施設アロフエンテ彦根新築 [100床] 彦根市地域包括支援センター開設（彦根市事業委託） 友仁訪問看護ステーションすずらん開設／ホームヘルプステーションまごころ友仁開設
1999年(H11)	09月	オーダリングシステム導入
2000年(H12)	06月	日帰り手術センター開設 彦根市佐和山デイサービスセンター開設（彦根市事業委託）
2001年(H13)	11月	地域連携室新設
2002年(H14)	10月	矩照幸理事長就任
2003年(H15)	04月	彦根市ふたばデイサービスセンター開設（彦根市事業委託）
2005年(H17)	03月	国際標準規格 ISO9001:2000 認証取得
	11月	一般病床のうち 57 床を療養病床に変更
2006年(H18)	11月	訪問リハビリステーションオリーブ開設
2007年(H19)	10月	オーダリングシステム更新
2008年(H20)	02月	MRI 更新（東芝 MRT-2003/P3 1.5T）
	12月	内視鏡検査・治療実績 年間 10,000 件突破（消化管）
2014年(H26)	04月	山本明名誉院長就任／馬場忠雄事業統括管理者就任
	08月	高橋雅士院長就任
	09月	一般病床のうち 40 床を地域包括ケア病床に変更
	12月	CT 更新（GE Optima CT660Pro Advance） 内視鏡検査・治療実績 年間 12,000 件突破（消化管）
2015年(H27)	12月	内視鏡検査・治療実績 年間 13,000 件突破（消化管）
2016年(H28)	08月	電子カルテシステム導入



沿革

2016年 ^(H28)	09月	創立記念日特別講演会開催
2017年 ^(H29)	04月	看護小規模多機能型居宅介護ナーシングホームすずらん開設
	09月	医療法人友仁会医療介護研究会開催
2018年 ^(H30)	03月	国際標準規格 ISO9001:2015 認証取得
	10月	在宅療養支援病院認定
2018年 ^(H30)	11月	入退院支援部新設
2019年 ^(H31/R1)	11月	受電設備更新 (PAS/キュービクル)
	12月	内視鏡検査・治療実績 年間 14,000 件突破 (消化管)
2020年 ^(R2)	09月	院内 PC 全台更新
	10月	第二キュービクル改修
	12月	PCR センター開設 (滋賀県委託事業) / 発熱外来開設 (専用診察室屋外設置)
2021年 ^(R3)	04月	新型コロナウイルスワクチン 医療従事者優先接種開始
	06月	新型コロナウイルスワクチン 一般 (優先対象者) 接種開始
	10月	X線テレビシステム更新 (Canon Ultimax-i)
2022年 ^(R4)	11月	友仁訪問看護ステーション河原町開設
		骨密度測定装置 PRODIGY Fuga-C 導入
2023年 ^(R5)	9月	看護小規模多機能型居宅介護友仁ナーシングホーム河原町開設



診療科・部門紹介

診療部

内科・消化器内科・消化器内視鏡センター

■スタッフ

(非)・・・非常勤

矩 照幸（理事長）／馬場 忠雄（事業統括管理者）／作本 仁志／加藤 周子／東 征樹（内視鏡センター長）／嶋田 歩／吉川 哲平／吉川 愛理／森田 幸子(非)／高島 満里子(非)／吉田 晋也(非)／横田 佳大(非)／松本 寛史(非)／木村 英憲(非)／妹尾 紅未子(非)／角南 智彦(非)／吉田 寿一郎（非）

■実績・Topics

◇内視鏡施行総数 14,900 例

[内訳] 上部消化管 11,250 例 [内、止血術 53 例／EMR 11 例／ESD 40 例]

下部消化管 03,650 例 [内、止血術 11 例／EMR 1,445 例／ESD 6 例]

膵胆内視鏡 00,013 例

内視鏡を用いた診療治療の進歩はめざましく、精密診断や低侵襲治療が可能のため、検査・治療件数は年々増加しています。全ての患者さまが安心・安全に検査・治療を受けることができるよう、スタッフ一丸となって環境づくりに取り組んで参ります。

循環器内科

■スタッフ

西川 真理恵／横濱 洋(非)／井上 慎二(非)／浅田 紘平(非)／藤居 祐介(非)／肥後 洋祐(非)

■実績・Topics

◇当院は長く消化器内科を中心にした病院でした。2022 年 5 月より循環器常勤となり、循環器疾患をお持ちの患者様も療養できるよう、環境を整えております。

<入院部門について>

当院は、心疾患の治療のみならず、医療と在宅の間の連携を行っていくのを得意とする病院です。急性期病院から心不全治療後の療養先としてご紹介いただいたり、在宅での治療が難しくなってきた方は入院での治療を行ったりしています。また他疾患で入院中の患者様に対しても、心臓の持病のある患者様が入院期間中に悪化しない様診察やお薬の調整を行いました。

<外来部門について>

日々のかかりつけ病院として患者様にご利用いただいています。また、健診異常の精査などで受診いただくことも多いです。一部当院で行えない検査もあり他院をご紹介することもあります。心エコー検査、ホルター心電図検査など積極的に検査いただけます。ホルター心電図については、1 週間連続検査のできる機械を新しく導入しました。症状の頻度が少ない患者様にも対応しやすくなりました。また睡眠時無呼吸症候群の検査も行っています。



診療科・部門紹介

診療部

患者様に寄り添った、ホッとできる医療を提供していきたいと考えています。

< 定期的に開催しているカンファレンス >

HFST(心不全サポートチーム)カンファレンス

外科・消化器外科

■スタッフ

湊 博史 (部長) / 伊藤 博士 / 栗岡 英明(非) / 窪田 健(非) / 有田 智洋(非)

■実績・Topics

◇外科は現在常勤医 2 名、非常勤医 3 名で診療にあたっています。伊藤博士医師が基本的に全手術症例の準備・執刀・術後管理・術後フォローアップなどを行っています。湊博史医師は手術助手・訪問診療・褥瘡患者さんなど手術を行わない患者さんの主な担当医や以前の執刀患者さんのフォローアップなどを行っています。数年前に常勤職を退任された栗岡英明医師は長年外科の中心として活躍されてきたこともあり、現在でも週 2 回の外来診療を担当されておます。また、京都府立医科大学からは火曜日には上部消化管チームから窪田健准教授、木曜日には下部消化管チームから有田智洋講師に来て頂き、手術指導にあたって頂いています。教室の上部・下部消化管チームのトップの先生に手術指導をして頂くことで患者さんは大学と同レベルの手術を受けることができます。現在、全身麻酔下手術の 8 割近くが開腹手術から腹腔鏡下手術に置き換わってきています。その中でも 3D 手術システムの導入などを行っており、高度な手術を受けて頂く環境を整えています。

ここ数年の代表的な手術の症例件数を下記に記します。昨年の全身麻酔での手術件数は 117 件でした。大きな変化はありませんが少しずつ増えている傾向となっています。

訪問診療に関しては、昨年度の利用者数は 8 名で、在宅看取りの患者さんは 3 名でした。一旦在宅診療を受け入れて頂いたご家庭でも経過中に再度施設入所や全身状態悪化時に入院看取りを希望されるケースもみられました。

手術症例数	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
胃がん	21	14	11	21	13	15
大腸がん	32	28	28	31	22	25
胆嚢摘出	22	22	22	20	23	15
鼠径部ヘルニア	17	14	19	22	18	27
虫垂切除	5	3	5	2	7	7
肛門疾患	7	9	7	6	2	6

整形外科

■スタッフ

竹内 孝之郎 / 金山 智之(非) / 長谷 賢(非)

■実績・Topics

◇当科では急性期疾患に対する手術等の積極的な治療は行っておりませんが、他院からの保存加療目的・慢性疾患の転院加療は積極的に受け入れています。



診療科・部門紹介

診療部

急性期を経過した患者さん（ポストアキュート）の継続加療として、地域包括ケア病棟にて理学療法およびリハビリテーションの充実を図り、身体機能を回復させ、在宅復帰を円滑に目指すことができるようスタッフ一同取り組んでいます。また、地域包括ケア病棟のもう一つの役割として、在宅・介護施設等からの患者さんで、症状の急性増悪した患者さん（サブアキュート）に対しても十分な治療が継続して提供することができるよう、入退院支援室・地域連携室とコミュニケーションを密にして、外部との円滑な連携体制を整えています。

脳神経外科 [もの忘れ外来]

■スタッフ

馬場 一美

■実績・Topics

- ◇人間ドックから連携し、頭部疾患を中心とした定期検査や高脂血症、高血圧などの生活習慣病の発症リスクを低減させるため、薬物療法を中心とした外来フォローを行っています。
- ◇脳外科としての一般外来は行っておらず、専門外来として「もの忘れ外来」の診療を行っています。もの忘れ外来では、初診時にももの忘れに関する質問や口答検査、画像診断等の検査を行い他の疾患との鑑別を行いながら、今後の生活の中での困りごとが少しでも減らせるように支援を行います。
- ◇近隣医療機関からの照会や道路交通法に基づいた高齢者の対応なども行っています。
- ◇認知症看護認定看護師も介入し、患者さんやご家族に対してのアドバイスや、介護サービスのご案内なども行い、地域で安心して生活が継続できるよう寄り添った医療の提供に心がけています。

◎もの忘れ外来実績

▶週 2 回：（月曜日・水曜日 14：00～16：00）

※火曜日（15：00～2 名程度 公安関係、紹介患者関係）

▶診察内容：問診、簡易評価スケールの実施、心電図、採血、PWI/ABI、胸部レントゲン、頭部 MR（CT）、必要であれば聴力、視力等

受診者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	42	39	52	55	42	39	52	36	41	41	38	41	518

男女比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	15	17	21	23	19	16	24	11	12	20	17	13	208
女性	27	22	31	32	23	23	28	25	29	21	21	28	310

年齢別	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
人数	4	4	22	135	294	59	518



診療科・部門紹介

診療部

泌尿器科

■スタッフ

多和田 真勝

■実績・Topics

◇泌尿器癌の診断・治療

前立腺癌：血清 PSA 値，直腸指診，前立腺 MRI にて癌の可能性を判断する。若年であれば近隣の高次医療機関へと紹介し，高齢であれば当科にてホルモン療法を行っている。腎癌・尿管癌・膀胱癌など：腹部超音波，CT，膀胱鏡を行って診断する。診断がつけば手術目的で近隣の高次医療機関へと紹介する。

◇尿路感染症の診断・治療

膀胱炎，腎盂腎炎，前立腺炎を中心とした尿路感染症に対し，外来通院での抗生剤治療を行っている。

◇尿路結石症の診断，治療

腹部超音波，CT にて診断を行う。小さな結石に関しては当科で保存的治療を行い，積極的治療が必要な症例については高次医療機関へと紹介する。

◇その他

当院の療養病棟，当法人の老人保健施設における泌尿器科的トラブルに対し，適宜対応を行っている。

◇トピックス

近年，マスコミなどの影響で男性更年期障害が目立つようになり，当科にも検査や治療を希望して受診される患者が散見されるようになってきた。そこで現在は当科でも，男性更年期障害の診断および治療（テストステロン補充療法）を行っている。

腎不全外来・透析センター

■スタッフ

森田 壮平（透析センター長）／三宅 省吾(非)／林 一誠(非)／森 優(非)

■実績・Topics

◇腎不全外来

院内発症を含め急性腎傷害患者さんに対する加療を行っている。

保存期腎不全の患者さんに対して、腎機能維持を目的とした腎不全外来を行っている。腎機能廃絶時の速やかな内シャント造設および血液透析導入も可能である。病診連携を強化し、近医クリニックよりの紹介患者も増加傾向である。

2023 年度延べ受診患者数：161 名

2023 年度紹介受診患者数：7 名

◇慢性腎不全

末期腎不全患者さんに対する外来血液維持透析に加えて、通院困難患者さんに対する入院療養透析も施行している。また患者の病態に応じて、HD、I-HDF、online-HDF が可能である。

入院療養透析患者さんは、地域連携を通じて主に近隣の透析患者さんの受け入れを増やしている。

2023 年度末血液維持透析患者：87 名



診療科・部門紹介

診療部

◇透析バスキュラーアクセス管理

主に当院透析患者さんの内シャント血管を守るため、シャント血管拡張術を施行している。

シャント PTA：2023 年度：55 件

◇下肢閉塞性動脈硬化症治療

透析患者さんの糖尿病性壊疽に対して、LDL アフェーシス、レオカーナ、遠赤外線治療（フィラピー）などの治療を施行している。

放射線科

■スタッフ

高橋 雅士（病院長）／金崎 周造（非）／友澤 裕樹（非）／中原 哲朗（非）

■実績・Topics

◇CT 4,077 件／MRI 2,099 件／一般撮影 14,180 件

◇その他造影検査等、放射線専門医が迅速にレポート作成。IVR 認定医による最新で安全な IVR 手技を施行。

◇造影剤の使用に関するリスクマネジメント（アナフィラキシー、造影剤腎症）、MR 環境のリスクマネジメントを重視し、安全な検査を行うように努力している。

予防医学センター

■スタッフ

馬場 一美（予防医学センター長）／馬場 忠雄（事業統括管理者）／中山 健夫（非）／伊藤 隆洋（非）

■実績・Topics

◇人間ドック／脳ドック／アンチエイジングドック／生活習慣病予防健診／特定健康診査／健康診断／予防接種など

◇病院開設以来多くの方に好評をいただき、毎年定期的を受診していただくリピーターの方がたくさんおられます。人間ドックメニューに含まれる胃カメラは、静脈麻酔という技術的な特徴により苦痛なく検査を受けていただくことができます。また、保健指導を積極的に行うことで、ドックを当日だけでなく通年で健康管理のお手伝いができるよう専門スタッフが取り組んでおります。

◇人間ドックや健康診断で来られる方の健康維持増進に関わるため、医師 2 名、看護師 6 名、医療アシスタント 1 名が携わっています。看護師は問診を行い、健診終了後には検査結果を踏まえて保健指導を行っています。今年度は指導スキルアップや受診者の生活に寄り添った指導を実践するため、2 名の看護師が滋賀糖尿病療養指導士（LCDE）を取得しました。また、減塩指導のため一目でわかるパネルを作成し掲示しています。

◇多くの方々に安心して気持ちよく受診していただけるよう看護職員の技術向上に努めています。各自の不得意な部分を復習しながらスキルアップすることを目的に、看護技術チェックリストに沿った勉強会を毎月開催しています。



診療科・部門紹介

■看護部

■2023 年度 看護部目標

- 1：全職員による経営健全化への意識と参画
 - ①病棟ごとの機能に沿った病床管理を行い収益向上に繋げる
 - ② 適切な在庫管理と各部署で業務改善を行い時間外削減に着手する
- 2：全ての部署におけるワークライフバランスの向上
 - ①他職種にタスクシフトできる業務を移譲し、お互いに協力していく
- 3：多職種が参加する医療安全文化の浸透
 - ①各部署で発生したインシデント・アクシデントの速やかな分析を行いお互いに共有し再発防止に努める
- 4：倫理的な感染対策の実施
 - ①個々の健康管理を行い安全な療養環境を提供する

■看護部組織

看護部長	大竹 順子
副看護部長	三上 千恵・早川 初美
1 階病棟	師長：大道 律子 主任：東川 由樹・辰見 鈴枝
2 階病棟	師長：小倉 由希子 主任：瀧谷 ひとみ・千嶋 恵梨
3 階病棟	師長：宮崎 富士子 主任：戸田 恵
4 階病棟	師長：宮崎 富士子 主任：福永 聡子
予防医学センター	師長：三上 千恵
外来	師長：松原 智美
手術室・中央材料室	師長：小倉 由希子
透析センター	師長：前田 朱美 主任：奥村 和美
内視鏡センター	師長：早川 初美 主任：松本 知子
入退院支援室	主任：杉本 美帆【退院支援専従看護師】

認定看護師	三上 千恵【認知症看護認定看護師】
	佐川 壱子【糖尿病看護認定看護師】
	久保 航 【感染管理認定看護師】

■活動概要

- 1：看護配置状況
 - 1 階病棟（地域包括ケア） 10：1 看護職員配置加算
 - 2 階病棟（一般急性期） 10：1 急性期看護補助体制加算
 - 3・4 階病棟（医療療養） 20：1
- 2：看護補助者配置状況
 - 1 階病棟（地域包括ケア） 25：1 看護補助加算
 - 2 階病棟（一般急性期） 25：1 急性期看護補助加算



診療科・部門紹介

■看護部

3：実習受入れ

- [病棟] 聖泉大学 看護学部
滋賀県立大学 人間看護学部人間看護学科
滋賀県立堅田看護専門学校

4：その他

◇看護の日・看護週間 5月12日・5月7日～13日

メインテーマ：5月12日は看護の日 いのちをまもるプロとして地域包括ケアシステムについて、意味や目的・入院決定から退院までの流れをイラストにして掲載。

「時々入院、ほぼ在宅」できる限り住み慣れた地域で日々の生活を営んでいただくために5月19日から26日に総合受付でパネル展示を実施。

◇院内看護研究発表会 10月28日（土）13：15～17：00

特別講演 テーマ「災害医療」

彦根市立病院 医療安全管理者 滋賀県災害医療コーディネーター 日本DMAT隊員
佐伯 公亮 先生

[演題] ケースレポート（2022年度入職者） 2題

- 1：「自宅退院が叶わなかった患者とその家族に対しての病院での終末期看護
～最期のときまでその人らしい人生になるために看護師ができることとは～」
- 2：「療養生活の中でのニーズ～絶食中である高齢患者の傾向接種が1日の楽しみとなる関わり～」

[一般演題] 5題

- ①認知機能低下予防の関わり方
～長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）を用いて（1階病棟）
- ②オンライン面会を用いたBPSD改善への取り組み
～個々に寄り添う関りの大切さ～（3階病棟）
- ③手術を受ける患者の体温調整方法について（2階病棟）
- ④手指消毒剤の使用量について
～設置型手指消毒剤と携帯型手指消毒剤での比較検討（外 来）
- ⑤内視鏡用手洗浄と洗浄ブラシの運用方法の検討
～質を担保し効率化を図る～（内視鏡センター）

■看護部委員会活動目標及び実施内容

◇業務委員会：看護記録に関する教育と監査を強化し、看護師一人ひとりの質の向上を図り看護実践に基づいた記録の徹底を行う。



診療科・部門紹介

■ 看護部

◇看護記録をルール化し時間外削減に繋げる

実施内容・委員会活動 年 12 回

◇カルテ監査 1 回・自己チェック 2 回 集計と評価実施

記録に対する勉強会 年 2 回実施

看護業務手順書・検査手順・院内略語集の見直し

◇リンクナース委員会

理論的な感染対策に基づき、リンクナースが自部署の感染対策のモデルとなるように最新の感染対策の知識を習得できる。

◎ラウンド及びフィードバックを効果的に行うことで、手順の遵守率が向上し院内感染発生件数が減少する

[実施内容] ▶委員会活動 (年 12 回)

▶手指衛生・手洗いラウンド毎月実施報告及び活動内容の検討

▶手指衛生回数・カテーテル関連感染率報告

▶感染管理手順の見直しを実施

◇リスクマネージャー委員会

毎月のレポートから起きた原因を分析し対策を考えていけるよう継続していく。

◎皮膚びらんに対するトラブルの削減 (昨年比: -30%)

◎転倒転落の予防・対策を行い事故に繋げない

◎他部署との連携が必要な事例に関して話し合いを持ち改善していく

[実施内容] ▶委員会活動 (年 12 回)

▶毎月のレポート内容の確認と検討を行いラウンド実施 (1 回/週)

▶インシデントレポート強化月間を 11 月に実施 (1 件/1 人)

◇看護補助者リーダー会

技術チェックリストから評価 C・D の部分を無くせるよう自身で目標を持つ患者個々に合わせたケアの提供していく。
またコミュニケーション技術を学び、安心・安楽な療養生活を支援する。

[実施内容] ▶看護補助者研修実施 年 9 回 (e-ラーニング)

▶ポジショニングについての集合研修 1 回開催

▶技術チェックの実施と集計から課題を抽出し習得を行う

▶看護補助者の手順書を見直し修正

◇教育委員会

看護職員教育プログラムに基づいた臨床研修を行い、看護職員が各レベルの到達目標を理解し臨床実践能力を向上。(e-ラーニング研修中心)

◎各卒後教育において主観的・客観的観点及び主体性を養い実践に活かすことができる

[実施内容] ▶委員会活動 年 12 回

▶年間計画に沿って対面式・e-ラーニングを活用し研修を実施



診療科・部門紹介

■看護部

◇看護部教育

◎教育目的

- ①地域住民の健康保持・増進に向けたチーム医療を提供するため看護専門職に必要な臨床実践の能力を養う。
- ②地域住民の健康保持・増進に向けより良い看護を提供するため看護専門職に必要な臨床実践の能力を養う。

◎教育目標

- ①対象者の人権を尊重し、安全で安心・納得される質の高い看護が提供できる。
- ②看護専門職としての知識・技術を確実に習得し、根拠に基づいた看護実践能力の向上を図ることができる。
- ③自己の役割を明確にし、医療チームの一員としての責任を自覚することができる。
- ④主体的にキャリア開発を目指し、看護の専門性を確立できる

■院内各種研修

- | | |
|----------|---|
| 1：卒後研修 | 1 全体研修
2 クリニカルラダー別研修
3 卒Ⅱ・卒Ⅲ研修
4 管理者研修 |
| 2：中途採用研修 | 年3回開催（4月・8月・2月） |
| 3：看護助手研修 | 院内研修 9回 |

■院内研修詳細

[看護師研修]

4/27	中途採用者研修		(2名)
5/18	卒Ⅲ救急小テスト	【卒Ⅲ】	(3名)
5/1～5/31	初めてのリフレクション～実践を新たなケアにつなげる～	【ラダーⅠ・Ⅱ・Ⅲ】	(84名)
5/1～5/31	タスクシフト・シェアと他職種協働をめぐる現状を整理する	【管理者】	(19名)
6/1～6/30	フィジカルアセスメントの戦術～どう着目しどう進めるか～	【ラダーⅠ】	(36名)
6/1～6/30	メンバーシップ・フォローシップ	【レベルⅡ】	(30名)
6/1～6/30	中堅ナースに伝えたい看護マネジメントの基礎	【レベルⅢ】	(15名)
6/1～6/30	「いま」求められるリーダーシップ	【レベルⅣ】	(11名)
6/14	卒Ⅱ研修 フィジカル①	【卒Ⅱ】	(3名)
7/1～7/31	チームで取り組む急変対応	【卒Ⅱ】	(3名)
8/1～8/31	「いま」求められるリーダーシップ	【レベルⅡ・Ⅲ】	
8/1～8/31	看護補助者と看護師の協働がかなえる医療の効率化	管理者	(16名)
8/25	中途採用者研修		(3名)
9/1～9/30	これからのコーチング・ファシリテーション	【レベルⅣ・Ⅴ】	(14名)
10/1～10/31	事例で学ぶ！やさしい看護過程	【レベルⅠ・Ⅱ】	(63名)
10/1～10/31	多職種連携を基盤としたアドバンス・ケア・プランニング（ACP）	【レベルⅢ】	(14名)



診療科・部門紹介

■ 看護部

10/1～10/31	目標管理の中間評価～成果を上げる評価方法とコミュニケーション	【管理者】	(15名)
10/16～11/17	静脈注射 全体研修	看護師全員対象	(99名)
12/27～1/27	静脈注射レベルⅢ及びレベルⅡからⅢにアップする看護師		(71名)
12/27～2/6	静脈注射レベルⅡからⅢにアップする看護師の実技試験		(6名)
1/17	卒Ⅱ・卒Ⅲフィジカルアセスメント合同研修		(5名)
2/14	BLS 小テスト	【卒Ⅱ】	(2名)
2/29	中途採用者研修	2名	
2/1～2/29	人事考課とマネジメントラダーを活用する事例	【管理者】	(16名)
2/1～2/29	困ったときにも役立つアサーションの実際	【レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ】	(79名)
5/1～1/31	看護補助者との協働における看護業務の考え 全7項目研修	【全員】	(89名)

[看護助手研修]

5/1～5/31	守秘義務・個人情報の基礎知識		(30名)
5/1～5/31	医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解		(30名)
6/1～6/30	認知症者の方へのコミュニケーション		(26名)
7/1～7/31	接遇・マナーの基本 ～患者・家族のかかわり～		(25名)
7/1～7/31	守秘義務・個人情報保護の基礎知識		(27名)
8/1～8/31	チームの一員としての看護補助者の業務の理解		(26名)
9/1～9/30	労働安全衛生の基本的知識		(26名)
10/1～10/31	食事の介助と口腔ケア		(26名)
11/1～11/30	感染予防 手指衛生 ～標準予防策など～		(26名)
12/1～12/31	看護補助者と協働するための情報共有とコミュニケーション		(26名)
1/24	ポジショニング		(18名)



診療科・部門紹介

■薬剤部

薬剤科

■スタッフ

薬剤師 嶋路 尚代（主任）／西山 恵里菜／塚本 洋子／村木 清美／岡田 春香
 事務・調剤補助 杉山 朱美

■実績・Topics

- ◇入院患者様の薬剤管理指導を積極的に行うように努めた。
- ◇出荷停止等で十分な薬剤の供給がなされない状況が続いているが、影響が少なくなるよう手配や代替薬への変更等の対応を心がけた。
- ◇薬剤科ミーティングの開催（2回／月）

■その他

◇資格

嶋路 尚代 認定実務実習指導薬剤師／日病薬病院薬学認定薬剤師／糖尿病療養指導士
 塚本 洋子 認定実務実習指導薬剤師／日病薬病院薬学認定薬剤師／漢方薬・生薬認定薬剤師
 甲種危険物取扱者／介護支援専門員

■栄養治療部

栄養科

■スタッフ

管理栄養士 不破 佳子（主任）／川本 優衣
 アシスタント 島田 晴美

■実績・Topics

- ◇栄養指導：入院 239 件／外来 192 件
 医師の指示のもと特別食及び低栄養・嚥下食を対象とし、入院及び外来での栄養指導を実施している。
- ◇栄養管理：入院時に栄養管理計画書を作成し早期に栄養介入を行い、NST と連携して栄養改善に取り組んでいる。
- ◇給食管理：委託業者と連携し、衛生管理及び事故防止に努めている。
- ◇NST カンファレンス（1回／週） ※療養病棟は1回／2週
- ◇栄養士カンファレンス（随時）
- ◇実習生受入れ 滋賀県立大学 2名

■その他

◇資格

不破 佳子 糖尿病療養指導士／人間ドック健康情報管理指導士／NST 専門療法士
 川本 優衣 糖尿病療養指導士／人間ドック健康情報管理指導士

◇その他活動

不破 佳子 湖東・食と栄養を考える会／CDE 滋賀 認定委員会 湖東地区担当



診療科・部門紹介

診療技術部

画像診断科

■スタッフ

診療放射線技師 井関 忠弘（科長）／川崎 浩一（主任）／柴垣 梨恵／澤田 孝行／
小林 大喜／宮川 楓／玉城 誠／一瀬 佑允

臨床検査技師 寺崎 みゆき

アシスタント 寺田 由子／野村 秀美

■実績・Topics

- ◇マンモグラフィ装置が11月に更新されました。画質がより鮮明になり、乳がん検診の質向上が期待されます。
- ◇超音波検査装置が9月に更新されました。肝硬度測定や超音波減衰法を搭載しておりNAFLDやMASLDなどの発見も期待されます。
- ◇木曜日夕刻を中心に小勉強会を開催
- ◇講演：NAFLD・MASLDを勉強しよう！ 井関忠弘
滋賀県診療放射線技師会 湖東支部研修会

■その他

◇資格

井関 忠弘 超音波検査士（消化器・体表）／第1種放射線取扱主任者

川崎 浩一 検診マンモグラフィ撮影技術認定／医療画像情報精度管理士

柴垣 梨恵 検診マンモグラフィ撮影技術認定

宮川 楓 検診マンモグラフィ撮影技術認定

寺崎 みゆき 超音波検査士（消化器）／第1種衛生管理者

◇社会的活動：井関 忠弘 滋賀県診療放射線技師会 理事

臨床工学科

■スタッフ

臨床工学技士 中村明弘（主任）／山本奈津子／舛本友子／田中彩／山本理紗／沈天放／
小林大輝／玉木秀治／薫森亮輝

■実績・Topics

- ◇血液浄化業務：透析装置の点検、オーバーホール、透析液清浄化管理、穿刺業務、透析中の患者モニターの監視などの透析業務、急性血液浄化業務
(主にLDL吸着、血漿交換、血漿吸着、白血球除去療法、腹水濾過濃縮など)
- ◇医療機器業務：院内の医療機器、主に人工呼吸器・ネーザルハイフロー・輸液ポンプ・シリンジポンプ・患者監視装置・テレメータ・除細動器・AEDなどの点検・修理対応業務
- ◇MEカンファレンス（1回／月）
- ◇透析除去効率のカンファレンス（4回／年）



診療科・部門紹介

診療技術部

■その他

◇資格

透析技術認定士	3名
3学会合同呼吸療法認定士	1名
ME二種技術認定士	3名

リハビリテーション科

■スタッフ

理学療法士	服部 智哉（科長）／松岡 遼（主任）／園田 友也／乾 あかね／平本 亜美菜
作業療法士	高木 洋彰／沢原 あゆ美
アシスタント	福原 美紀／嶋津 香織

■実績・Topics

◇運動器疾患／脳血管／廃用症候群の運動療法及び物理療法の施行

◎運動療法総数	25,579単位
[内訳] 運動器疾患	13,985単位（54.7%）
脳血管疾患	2,708単位（10.6%）
廃用疾患	8,886単位（34.7%）

◇実習受入れ

◎理学療法士	びわこリハビリテーション専門職大学／京都医健専門学校／京都橘大学
◎作業療法士	京都橘大学

◇リハビリテーションカンファレンス（毎週月曜日）

◇養病棟カンファレンス（毎週金曜日）

◇リハビリテーション会議（毎月第1火曜日）

■その他

◇資格

服部 智哉	理学療法士臨床実習指導者
松岡 遼	理学療法士臨床実習指導者
園田 友也	理学療法士臨床実習指導者
高木 洋彰	作業療法士臨床実習指導者

生理検査科

■スタッフ

臨床検査技師 箕浦 操（主任）／藤川 和美／山本 絵理／田邊 茜／田代 久子

■実績・Topics

◇業務 心電図／負荷心電図／ホルター心電図／携帯型心電図／加算平均心電図／肺機能検査／
眼底検査／眼圧検査／聴力検査／ABI/PWV／心エコー／頸動脈エコー／
簡易終夜睡眠ポリグラフィ検査（SAS検査）／終夜睡眠ポリグラフィ検査（PSG検査）



診療科・部門紹介

診療技術部

◇実績 心エコー 874 件／頸動脈エコー 922 件／ホルター心電図 218 件／心電図 8,766 件（検診含む）

※検査項目が多いため、他の実績は省略

◇循環器常勤医師と心エコーの症例カンファレンス（1回／月）

◇症例検討や講習会の伝達など、科内のスキルアップに努めています。

■その他

◇常勤医師、非常勤医師とコミュニケーションを取りながら、日々の業務に努めています。

◇早期診断のため、当日検査が行えるよう努めています。また、ホルター心電図、ATパッチ、簡易終夜ポリグラフィに関しては院内で解析を行っているため、異常所見が認められたら早急に主治医報告を行っています。

◇資格

箕浦 操 二級甲類臨床病理技術士（循環生理学）

藤川 和美 二級甲類臨床病理技術士（循環生理学）

入退院支援部

入退院支援室／医療相談室

■スタッフ

看護師 杉本 美帆（主任）／山本 里美

MSW 遠崎 真希子／細田 真紀／ 岩崎 柚子香

事務 辻 恵美

■実績・Topics

◇業務

地域連携業務（開業医からの検査予約、診察予約、他院への検査・受診予約、検査結果郵送）予約入院調整、入院説明、転院受け入れ調整、退院調整

◇業務実績

外来受診紹介件数 年間820件

内視鏡検査紹介件数 年間3222件 放射線科検査紹介件数：1084件

生理検査紹介件数 年間162件

紹介入院件数：年間505件＊うち彦根市立病院からの紹介入院件数104件（20.6％）

◇加算

・入退院支援加算1取得 年間603件

・入院時支援加算取得 年間87件

・介護連携指導実施 年間521件

◇リハビリカンファレンス

◇療養病棟カンファレンス

◇各病棟退院支援カンファレンス／退院前カンファレンス



診療科・部門紹介

■入退院支援部

- ◇発表：病院・ケアマネージャー退院支援を考える合同会議
入退院支援がうまくいった事例報告
「不安が強い独居高齢者の退院支援」 岩崎 柚子香

■その他

◇資格

杉本 美帆	退院調整専従看護師／保健師
山本 里美	看護師
遠崎 真希子	社会福祉士
細田 真紀	社会福祉士
岩崎 柚子香	社会福祉士／精神保健福祉士

◇その他活動

杉本 美帆	湖東地域ネットワーク会議／湖東圏域難病対策地域協議会 湖東地域脳卒中地域連携協議会／自殺未遂者ネットワーク会議
-------	--

■事務部

総務課

■スタッフ

中岡 智代美（課長）／松村 正樹（課長）／北川 敦史／今井 信行／長崎 作蔵／土肥 久子

■実績・Topics

◇行政監査

医療法に基づく医療機関立入検査（彦根保健所） 2023年12月1日 保健所立入検査

◇不在者投票

2023年4月6日	滋賀県・県議会議員選挙	(9名)
4月20日	彦根市市議会議員選挙	(3名)
2024年3月5日	多賀町町長選挙及び町議会議員選挙	(1名)

◇施設基準の届出

[新規] 2023年4月 看護職員処遇改善評価料 45

◇医師事務補助業務

各種診断書作成：1,233件／年 ※診断書完了まで約9日（全国平均10～14日）
診断書作成後の問合わせ件数：8件／年

◇法人内インターネットセキュリティ対策

2023年5月1日仮想ブラウザの試験運用開始
2023年8月1日仮想ブラウザ本運用開始

◇消防訓練

2023年5月予定・・・D V Dによる研修（繰り返す豪雨の被害）
2024年3月29日通報訓練及び・・・D V Dによる研修（大地震災害発生！命と事業を守れ）



診療科・部門紹介

■事務部

車両施設課

■スタッフ

辻井 太一郎（課長）／上野 徹夫

■実績・Topics

- ◇本館給水設備更新
- ◇第二キュービクル改修工事
- ◇吸収冷温水機運転基盤操作盤・燃烧部品取替
- ◇外科外来エアコン設置（5 部屋）
- ◇温冷配膳車更新（2 台）
- ◇安全運転管理者研修受講

医事課

■スタッフ

杉本 剛（事務次長兼医事課長）／川上 敦子（主任：診療情報管理担当）／中根 愛（主任：入院担当）／
西澤 豊彦（主任：外来担当）／泉 ゆかり（副主任：入院担当）／杉野 葵／北村 洋子／岸本 かずみ／沢 眞喜子
／吉田 七海／吉田 未理／高橋 基弘／佐々木 亮太郎／松井 優奈／野村 美智代／柳本 智子／田中 る
み子／筈井 桂子／徳島 陽子／北川 さとみ／大竹 亜衣／高木 宏美／安田 素治／山口 貴寛／岡田 ひかり
近藤 裕子／内田 彩音

■実績・Topics

- ◇医師、看護師、各メディカルスタッフとの情報交換やレセプトチェックシステムの精度向上、職員の向上を
図り査定率の減少に努めている。

◎査定率 ※金額ベース

2016 年 0.38％／2017 年 0.28％／2018 年 0.24％／2019 年 0.23％／2020 年 0.13％／
2021 年 0.14％／2022 年 0.07％／2023 年 0.13％

- ◇COVID-19 感染症の継続的な感染対策実施
- ◇全体小ミーティング（月～金曜 16 時 50 分～、土曜 12 時 20 分～）
- ◇外来定例ミーティング（毎月 15 日頃）
- ◇入院定例ミーティング（毎月 20 日頃）
- ◇医事課、外来看護部の合同カンファレンス（1 回／月）
- ◇医事課、ニチイ学館連絡会議（1 回／月）

■その他

◇資格

杉本 剛 診療情報管理士／医療経営士 3 級
川上 敦子 診療情報管理士



診療科・部門紹介

■事務部

西澤 豊彦 診療情報管理士／施設基準管理士

田中 るみ子 診療情報管理士

◇検定・研修

医師事務作業補助者基礎知識研修 : 4名

診療報酬請求事務能力認定試験 : 5名

メディカルクラーク（医科） : 2名

医療情報基礎知識検定 : 1名

ホスピタルコンシェルジュ検定 : 1名

医事課

■スタッフ

川上 敦子（主任）

■実績・Topics

◇全退院患者の、サマリーの監査および作成率の管理、国際疾病分類（ICD-10）による疾病統計と、DPC調査に準拠したデータの作成をしています。

◇2023年度退院患者総数 1,595名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院数	132	122	133	128	145	134	151	133	136	103	134	144	1,595

予防医学課

■スタッフ

前田 誠治（課長）／鷺尾 公美子（課長）／中川 奏子／澤 侑加／川越 彩香／堀川 尚子／

四谷 由梨奈

■実績・Topics

◇日帰り人間ドック、脳ドック、生活習慣病予防健診、特定健康診査、法定健康診断、予防接種（院内接種）等を実施。

◇当院の人間ドックは、多くのリピーターの方々に支えられて今日まで発展してまいりました。胃カメラの静脈麻酔の評判をお聞きになられた方が県内一円からご受診いただいております。



診療科・部門紹介

■事務部

地域連携室

■スタッフ

長田 充史（主任）

■実績・Topics

◇病院やクリニック、企業からの受診に関する問い合わせや、専門外来・検査の依頼に対する予約調整業務を行っています。また、近隣の医療機関へ当院の新たな取り組みや変更などをアピールしています。

◇近隣の病院と5病院事務担当者地域連携連絡会議を年に3回おこなっており情報交換を行っています

◇紹介総数 外来：5,420

[外来内訳] 診療部門：820／検査部門：4,600

入院： 505

■法人本部

かるがも保育所

■スタッフ

大塚 恵子（園長）／北川 裕加里／山田 典子／宮本 ひかる／中島 悠史奈／押谷 瑞保／三田村 柚歩／中川 麻子／寺田 涼子／益田 江莉／富田 陽子／濱田 真衣／川畑 有紗／谷口 静香

■実績・Topics

◇年間行事

◎2023年4月 入園式・進級式・園庭遊び／こいのぼり製作

5月 健康診断・個別懇談

6月 虫歯予防デー・親子バス遠足・七夕の製作

7月 七夕飾りつけ・七夕の集い・水遊び・すいか割り

8月 プール遊び・感触遊び

9月 運動遊び

10月 健康診断・芋ほり・散歩・落ち葉拾い

11月 園庭遊び・散歩・劇遊び

12月 クリスマス会・ナーシングホームすずらんクリスマス会訪問・雪あそび

1月 お正月遊び・雪あそび・鬼のお面製作

2月 節分の集い・入所説明会

3月 ひな祭り会・卒園児集合写真撮影・アルバム制作・卒園式

◇各月行事

避難訓練（火災・地震・防犯・水害・通報） 身体測定 誕生会

■その他

保育研修

2023年

4月26日 食の4大悩みどう対応する？（園内研修）

5月29日 今こそ学ぼうアサーション（園内研修）



診療科・部門紹介

■法人本部

- 6月25日 まさかの事故を予防する安全対策（園内研修9
- 7月25日 子どものストレスどう気付く？どう向き合う？（園内研修）
- 8月28日 発達障害児研修
- 8月29日 感染症の基本（園内研修）
- 9月25日 レジリエンスの高め方（園内研修）
- 10月11日 人権教育推進研修
- 10月26日 交わし合う言葉を豊かにするために（園内研修）
- 11月10日 運動遊びについて
- 11月22日 家庭支援研修
- 11月29日 発達に合わせて考える子どものけんかについて（園内研修）
- 12月7日 マネジメント研修会
- 12月27日 話すに繋がる聞く力を育む（園内研修）

2024年

- 1月13日 青少年健全育成フォーラム
- 1月15日 楽しく保育を続けられるために
- 1月18日 保育内容研修会
- 1月30日 ネガティブ感情をどう受け止める？（園内研修）
- 1月31日 中堅職員研修会
- 2月7日 交通安全研修
- 2月27日 進級の基本（園内研修）
- 3月5日 家庭支援研修会
- 3月8日 人権研修
- 3月28日 4月の保育はチーム力で乗り切る（園内研修）



委員会活動

医療安全委員会

■委員長／委員

大道 律子／高橋 雅士／中岡 克宏／大竹 順子／塚本 洋子／中村 明弘／井関 忠弘

■活動内容

- ◇多職種が参加する医療安全文化の浸透を目標テーマに活動をおこなった。
- ◇院内全体研修（2回／年）
 - ◎第1回 2023/8/1～8/31（学研ナーシングサポート：E-ラーニング）
テーマ「基礎から学ぶ！医療安全」
 - ◎第2回 2024/2/2～2024/2/29
テーマ「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」
- ◇毎月第3月曜に委員会開催



委員会活動

- ◇臨時会議 2回
- ◇医療相談件数 0件
- ◇救急コール訓練実施
日時：2022年12月15日 15時30分～
場所：センター棟 内視鏡センター
- ◇毎月第3月曜日に委員会開催

RMT 委員会

■委員長／委員

福永 聡子／大道 律子／馬場 一美／塚本 洋子／松原 智美／小倉 由希子／宮崎 富士子／
前田 朱美／中村 明弘／松岡 遼／川本 優衣／澤田 孝行／藤川 和美／鷺尾 久美子／中谷 公一／
中根 愛／長田 充史／今井 信行

■活動内容

- ◇委員会の定期開催（1回／月）
- ◇毎週金曜に RMT メンバーによるラウンドを実施（是正処置・予防処置に対し守られているか）
- ◇インシデントレターの配信（2件／年）
- ◇医療安全研修の開催（2回／年）※医療安全活動内容参照

院内感染防止対策委員会

■委員長／委員

湊 博史／高橋 雅士／中岡 克宏／大竹 順子／早川 初美／嶋路 尚代／箕浦 操／松村 正樹／
横田氏（株式会社近畿予防医学研究所）

■活動内容

- ◇「理論的な感染対策の実施による、安全・安心な療養環境の提供」「職員の院内感染対策に関する知識・意識向上」を目標に、ICT およびリンクナースを中心に感染管理活動を実施した。
- ◇院内全体研修
第1回 7/6～7/31 ビデオ研修
疥癬と感染予防策～患者と自分を感染から守るために～
第2回 12/12～12/31 e-ラーニング研修
学び直しの標準予防策（スタンダードプリコーション）
- ◇その他の活動内容
 - ◎院内監視菌及び院内感染症発生の監視、報告
 - ◎抗菌薬適正使用の巡視（1回/週）、不明熱者のコンサルテーション
 - ◎感染対策手順巡視（1回/週）
 - ◎手指衛生、CRABSI サーベイランスの実施、フィードバック
 - ◎COVID-19 の最新情報、県内外の発生状況に合わせ感染対策の更新、啓蒙
 - ◎近隣病院との感染対策合同カンファレンスへの参加



委員会活動

◎感染対策手順追加・改訂その他

■その他

◇病院コロナ対策チームによる、コロナに関する対応全般を検討（感染状況にて開催）

薬事委員会

■委員長／委員

高橋 雅士／湊 博史／嶋路 尚代／杉本 剛

■活動内容

◇開催：毎月第1金曜日

◇院内新規採用薬や採用中止薬の検討、後発品使用推進のための検討を行い、決定事項を診療部会議にて報告している。

◇診療部会議での議論が必要な場合には、薬事委員会からの議案として報告するようにしている。

レジメン委員会

■委員長／委員

湊 博史／伊藤 博士／塚本 洋子／西山 恵里菜／外来化学療法担当看護師

■活動内容

◇病院内のレジメンの管理や登録を行い、化学療法の適切な運用を図るとともに患者に最善の治療を提供することを目的としている。

◇医師より新規化学療法の申請があった場合や報告事項がある場合などに不定期にレジメン委員会を開催し(第一金曜)対象疾患、用量、投与スケジュール等を審査し院内のレジメンへの登録を行う。

今年度は新規レジメン1件の登録を行った。

NST委員会

■委員長／委員

竹内 孝之郎／不破 佳子／松原 智美／戸田 恵／椎葉 茉結／松山 絢香／森田 柚希／宮田 のぞみ
川本 優衣／沢原 あゆみ／西山 恵里菜／泉 ゆかり／吉田 七海

■活動内容

◇各病棟でのNSTカンファレンス（1回／週）

◇NST委員会（毎月第3金曜日）

◇「NSTだより」を発行（4回／年）

■その他

◇資格

松原 智美 NST 専門療法士

不破 佳子 NST 専門療法士



委員会活動

業務委員会

■委員長／委員

宮崎 富士子／小倉 由希子／鶴田 奈々子／藤川 せり乃／河合 和美／北川 洋子／島津 久美子

■活動内容

- ◇業務委員会（1回／月）
- ◇カルテ監査 [看護記録内容]
- ◇病棟スタッフの各自己チェック（3回／年）⇒集計と評価実施 個人指導
- ◇看護記録についての勉強会（2回／年）
- ◇看護業務手順の見直し（適宜）
- ◇検査手順の見直し（適宜）

透析機器安全管理委員会

■委員長／委員

森田 壮平／前田 朱美／山本 奈津子

■活動内容

- ◇透析機器の安全管理
- ◇透析液の水質管理の確認（透析液のエンドトキシン濃度や細菌検査の結果を確認し、透析液水質確保加算2を算定）

透析センター会議

■委員長／委員

森田 壮平／前田 朱美／山本 奈津子

■活動内容

- ◇透析センター内の各職種の予定、活動内容の報告や問題点を議題として月1回開催。
- ◇透析効率の評価（4回／年）

診療情報管理委員会

■委員長／委員

高橋 雅士／三上 千恵／山本 里美／杉本 剛／川上 敦子

■活動内容

- ◇電子カルテを導入した事で起こりえる記載のコピー&ペーストの乱発を防ぐため、定期的にカルテ監査を実施、必要に応じ指導を行っている。
- ◇新たな文書の書式確認、管理を行っている。
- ◇14日以内の退院サマリーの記載率100%を目指し医師に働きかけている。
- ◇患者様から求めがあった際、迅速にカルテ開示が行えるよう規定の見直しを図った。



委員会活動

サービス向上委員会

■委員長／委員

前田 誠治／東 征樹／田部 友紀子／酒井 明子／小林 大喜／園田 友也／中岡 智代美／
松井 優奈／瀧波 桂子

■活動内容

- ◇ 接遇自己評価アンケートを実施し動画視聴による研修を実施しました。
- ◇ 年 10 回の院内ラウンドを実施し、主に設備環境や整理整頓について、様々な問題点を指摘し、多くの改善につなげました。

品質管理委員会

■委員長／委員

高橋 雅士病院長(品質管理責任者)

ISO 事務局：中岡 克宏／中谷 公一／松村 正樹

品質管理委員（部門長）及び内部監査員：杉本 剛／前田 誠治／辻井 太一郎／長田 充史／
大竹 順子／三上 千恵／早川 初美／宮崎 富士子／大道 律子／戸田 恵／井関 忠弘／服部
智哉／福永 聡子／前田 朱美／不破 佳子／川崎 浩一／嶋路 尚代／小倉 由希子／箕浦 操
／松原 智美／川上 敦子／佐川 壱子／東川 由樹／千嶋 恵梨／瀧谷 ひとみ

■活動内容

- ◇ 4 月 各部署の年度活動報告集計結果「マネジメントレビュー報告書（2022年度）」第25号を発行／2023年度品質目標を発行
- ◇ 7 月 内部監査（前期）実施（対象部署 22 部署、内部監査員 24 名）
 - ◎軽微な不適合 3 件
 - ◎改善の機会 16 件
- ◇ 7 月 外部維持審査 2023年度 ISO 9001:2015（第19回）認証取得
 - ◎軽微な不適合 1 件 「7.1.3 検査装置の使用点検について」（画像診断科）
 - ◎改善の機会 4 件
 - 「身体抑制に関する患者（家族）とのコミュニケーション」（病棟）
 - 「是正処置の完了確認」（医療安全）
 - 「品質目標の結果の評価方法について」（ISO事務局）
 - 「計量機器の校正について」（病棟）
- ◇ 10 月 「マネジメントレビュー報告書（2023年度半期）」第26号を発行
- ◇ 1 月 内部監査（後期）の実施（対象部署 20 部署、内部監査員 25 名）
 - ◎重大な不適合 1 件
 - ◎軽微な不適合 2 件
 - ◎改善の機会 18 件



委員会活動

検体検査委員会

■委員長／委員

作本 仁志／箕浦 操／西澤 豊彦／岸本 かずみ／中岡 智代美
横田氏 [株近畿予防医学研究所]

■活動内容

- ◇2ヶ月に1度、第三木曜日に委員会を開催。（議事録配信）
 - ◎検査室 精度管理、新規受託、受託中止項目、依頼件数の月報、検体採取に関する事例
 - ◎医事課 レセプトに関して返戻事例について
- ◇各委員が検体検査に関しての具体策の検討、立案し、その決定により対策を実施。
- ◇2024年度:医師への検体検査アンケート。
- ◇オーダー画面の修正、およびセット項目、検査項目の検討。

■その他

- ◇施設基準：検体検査管理加算（Ⅱ）を取得。

退院調整委員会

■委員長／委員

杉本 美帆／三浦 育子／森 麻紀子／河合 和美／高屋 奈央／遠崎 真希子／細田 真紀
岩崎 柚子香

■活動内容

- ◇毎月第3金曜に開催し、退院調整に関する報告及び、各病棟の退院調整に関する報告を行っている。



ISO について

■概要

認証対象組織	医療法人友仁会 友仁山崎病院
摘要規格	ISO9001:2015
登録事業範囲	医療サービスの提供
認証番号	25553
2005年3月	ISO9001:2000年版認証
2008年3月	ISO9001:2008年版認証
2018年4月	ISO9001:2015年版認証
認証以降、維持審査（毎年）と更新審査（3年毎）を繰り返し、現在に至る。	

■活動方針

- 1.安全かつ最良な医療
- 2.安全な医療
- 3.患者満足と職員満足の実現

■2023年度総括

2005年3月にISO9001:2000を取得し、はや20年目に入りました。20年前には、無かったルールや手順もこの間には随分と増えて参りました。ISOのシステムは、終わりがなく常にP・D・C・Aサイクルを回し続けていかなくてはなりません。ISOの活動を進めていく中で、人の管理、設備/機器の管理、運用システムの管理など管理能力の向上にもつながり、職員の育成にも良い活動となっています。また、定期的に行われる内部監査や外部監査を通じ、その時々抽出された気づきを不適合の種とし、この種が大きならない様に「改善の機会」として業務改善に取り組んでまいりました。今後も、質方針に基づき、最新かつ最良な医療、安全な医療、患者満足と職員満足に向け、医療サービスの質向上に、品質マネジメントシステムを有効に活用していければと思います。





業績

■学術講演・学会発表等

- ◇The 7th Interstitial Lung Disease Update 2023 2023.10.25-27 Kuala Lumpur (ZOOM)
- ◇Diffuse Cystic Lung Disease: Pictorial Review and Differential Diagnosis
- ◇Connective Tissue Lung Diseases : Radiological Findings

- ◇彦根市立病院研修医講演会 2023.10.10 彦根市
高橋 雅士
あなたは自信がありますか？胸部単純写真読影の勘どころ

- ◇令和 5 年度第 1 回滋賀県肺がん検診従事者講習会 2024.1.28 大津市
高橋 雅士
肺がん検診の判定基準について
- ◇令和 5 年度草津市レントゲンを学ぶ会 2024.2.3 草津市
高橋 雅士
肺がん検診の判定基準について、発見肺がんの検討

- ◇令和 5 年度第 2 回滋賀県肺がん検診従事者講習会 2024.3.24 大津市
高橋 雅士
令和 4 年度発見肺がんの症例検討

- 座長・司会
- ◇第 81 回 近畿消化器内視鏡技術学会 2023.8.6
座長：早川 初美
一般演題 「コロニー自動カウントシステム導入効果の検討」
「経鼻用スコープを用いて 2 歳男児に対し超音波内視鏡を施行した事例について」
「鎮静化消化器内視鏡検査後の安静解除における看護師の臨床知識に関する質的研究」

- ◇第 82 回 近畿消化器内視鏡技術学会 2024.1.21
座長：早川 初美
一般演題 「看護記録を活用した鎮静剤の適正使用に対する取り組み」
「市立病院における院内下剤服用アンケート調査の試み」
「外来看護師が内視鏡勤務に感じる困難感、不安感、ストレス等に関する検討」
「超音波内視鏡穿刺吸引法（EUS-FNA）の迅速細胞診の有用性について」



統計資料

■患者地域構成

地域	地域詳細	外来	入院 全体	入院 地域包括	入院 一般	入院 療養
彦根市	城北	953	301	90	211	0
	鳥居本	623	660	112	182	366
	城西	1,116	1,125	223	282	620
	城東	2,687	3,056	1,214	708	1,134
	金城	2,834	2,123	539	505	1,079
	平田	2,787	1,208	498	383	327
	佐和山	4,584	3,200	1,010	717	1,473
	城南	6,757	2,851	1,282	917	652
	旭森	5,241	1,522	754	577	191
	高宮	4,428	2,153	687	765	701
	城陽	2,104	1,235	299	297	639
	亀山	1,156	290	181	109	0
	河瀬	4,756	1,640	440	807	393
	稲枝北	稲枝北	558	133	39	78
稲枝東		1,725	689	309	230	150
若葉		2,215	949	325	327	297
稲枝西		623	360	188	37	135
犬上郡		多賀町	3,941	1,886	490	488
	甲良町	2,497	1,715	418	495	802
	豊郷町	1,044	370	198	172	0
愛知郡	愛知川	1,460	325	32	153	140
	秦荘	1,145	252	61	137	54
東近江市	湖東	651	98	13	85	0
	愛東	321	161	69	92	0
	能登川	973	351	128	163	60
	五個荘	455	194	94	100	0
	永源寺	148	20	2	18	0
	八日市	961	123	37	86	0
近江八幡市	蒲生	62	0	0	0	0
	近江八幡	646	123	14	109	0
	安土	180	8	2	6	0



統計資料

■患者地域構成

地域	地域詳細	外来	入院 全体	入院 地域包括	入院 一般	入院 療養	
米原市	米原	338	913	76	81	756	
	山東	109	317	36	33	248	
	近江	171	434	0	47	387	
長浜市	伊吹	67	115	0	13	102	
	長浜	749	3,959	99	100	3,760	
	虎姫	36	156	3	3	150	
	湖北	35	369	3	14	352	
	西浅井	5	2	0	2	0	
	高月	36	794	60	2	732	
	木之本	23	10	2	8	0	
野洲市	余呉	7	0	0	0	0	
		84	14	0	14	0	
	守山市	113	6	0	6	0	
	栗東市	34	3	0	3	0	
	草津市	118	12	0	12	0	
	高島市	17	0	0	0	0	
	大津市	110	75	6	7	62	
	蒲生郡	竜王町	29	0	0	0	0
		日野町	127	0	0	0	0
	甲賀市		39	0	0	0	0
湖南市		33	7	0	7	0	
県外		415	58	28	30	0	
【合計】		62,326	36,365	10,061	9,618	16,686	



統計資料

■診療科別患者数

◇外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	611	663	693	692	702	631	598	559	588	518	552	550	7,357
消化器内科	1216	1278	1175	1320	1337	1342	1295	1397	1361	1135	1273	1303	15,432
循環器内科	499	494	533	431	493	455	480	492	506	420	535	439	5,777
呼吸器内科	61	52	72	63	49	62	67	44	75	53	40	70	708
糖尿病内分泌	106	102	123	104	102	106	95	114	97	75	147	108	1,279
腎臓・糖尿病	11	11	14	16	17	16	20	15	12	12	10	7	161
消化器外科	637	646	614	505	517	520	535	543	529	449	457	486	6,438
整形外科	474	520	502	488	440	469	428	487	443	376	426	364	5,417
脳神経外科	65	73	76	76	76	49	82	68	68	75	64	57	829
泌尿器科	146	130	125	133	136	115	136	126	143	112	130	150	1,582
皮膚科	57	41	49	47	82	66	48	51	36	32	67	0	576
放射線科	109	100	91	103	89	85	88	82	80	74	84	83	1,068
透析センター	916	998	991	1,003	998	916	919	917	906	930	876	923	11,293

◇入院（在院日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	420	418	306	479	602	660	586	309	453	513	503	378	5,627
消化器内科	283	239	292	365	329	420	324	307	236	222	311	296	3,624
循環器内科	88	97	107	101	139	88	95	70	42	136	103	180	1,246
消化器外科	251	298	282	255	261	269	208	275	293	275	203	257	3,127
整形外科	520	491	597	544	360	403	351	503	459	401	383	351	5,363
脳神経外科	50	20	76	57	76	57	62	17	41	49	83	87	675
療養	733	781	785	841	836	840	812	689	618	636	655	712	8,938
透析科	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12	17
特殊疾患	759	744	718	730	727	666	671	613	580	516	490	534	7,748



統計資料

■リハビリテーション科

◇外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患	8	2	0	0	0	0	0	0	0	1	11	3	25
運動器疾患	217	204	197	139	95	88	107	150	137	88	116	113	1,651
廃用症候群	4	3	2	2	10	8	2	2	6	7	1	2	49
消炎鎮痛	355	354	324	287	298	268	262	258	237	222	230	240	3,335

◇入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患	259	258	231	197	208	218	249	130	175	248	273	237	2,683
運動器疾患	1,206	1,238	1,541	1,332	857	831	653	1,019	975	1,016	812	854	12,334
廃用症候群	622	680	330	594	751	946	967	678	663	666	998	942	8,837
消炎鎮痛	8	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	19

■薬剤科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院外処方	1,906	1,490	2,509	2,423	2,125	2,394	2,350	1,941	2,472	1,238	1,470	2,263	24,581
外来処方	13	10	15	10	16	10	7	7	5	4	6	15	118
入院処方	1,527	1,395	1,517	1,362	1,453	1,405	1,159	1,306	1,433	1,251	1,341	1,402	16,551
入院注射	1,615	1,628	1,713	1,818	2,063	2,039	1,524	1,405	1,455	1,484	1,290	1,539	19,573
アロフェンテ処方	352	266	247	277	290	279	331	278	354	244	279	281	3,478
薬剤管理指導1	10	17	12	17	17	19	27	22	22	18	12	25	218
薬剤管理指導2	46	39	24	45	34	38	29	59	31	29	29	34	437
無菌製剤処理科Ⅰ	28	23	29	25	24	21	18	27	20	25	17	20	277
無菌製剤処理科Ⅱ	172	197	219	171	156	162	200	177	126	107	65	64	1,816
麻薬管理指導加算	2	2	4	0	0	1	0	1	2	3	2	3	20
退院時服薬指導料	25	19	25	17	20	24	23	19	22	13	15	26	248
退院時薬情連携加算	11	7	10	2	8	7	13	10	13	5	3	6	95
薬剤総評調整加算	2	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	9
薬剤調整加算	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	8



統計資料

■画像診断科

◇外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	556	593	526	516	548	498	516	542	502	446	417	473	6,133
CT検査	306	314	305	312	315	357	319	308	301	298	262	306	3,703
MRI検査	124	127	140	133	105	127	127	110	113	107	109	100	1,422
UGI	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5
ANGIO	3	2	7	4	6	2	3	8	4	5	1	4	49
造影検査	0	0	1	1	2	2	0	1	2	0	1	2	12
骨塩定量検査	34	43	35	52	43	43	34	67	46	47	35	55	534
その他	3	1	3	3	3	2	3	1	2	2	1	2	26

◇入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	100	134	101	115	109	115	121	110	106	117	89	124	1,341
CT検査	68	59	52	53	60	65	51	54	47	67	46	58	680
MRI検査	15	16	15	10	16	11	7	15	15	10	11	14	155
UGI	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	8
ANGIO	1	2	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	9
造影検査	7	4	4	3	2	5	1	1	6	1	2	6	42
骨塩定量検査	1	1	0	0	0	0	2	2	4	0	0	0	10
その他	3	7	3	5	9	5	2	6	7	2	2	4	55

◇予防医学

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	513	550	629	550	572	549	624	529	587	493	614	496	6,706
マンモグラフィ	25	32	60	51	46	50	37	42	32	27	42	33	477
CT検査	18	22	17	21	20	35	29	16	14	8	13	31	244
MRI検査	41	37	43	57	53	38	27	43	35	43	53	52	522
UGI	14	14	8	15	9	17	10	18	14	12	10	12	153
骨塩定量検査	10	8	14	9	12	9	11	12	12	22	18	9	146

■栄養科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来栄養指導	14	21	15	20	14	12	21	15	17	16	11	16	192
入院栄養指導	30	18	32	24	25	20	21	19	11	14	9	16	239
食数	6,929	6,982	6,915	7,378	6,843	7,003	6,514	5,516	5,543	5,877	5,871	6,116	77,487



統計資料

■内視鏡センター

◇上部消化管

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【上部総数】	836	954	1,090	992	1010	930	983	998	939	757	865	844	11,198
止血術	1	3	10	6	3	12	6	6	1	3	8	2	61
EMR・ポリペク	2	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	8
ESD	2	2	5	4	2	7	1	4	1	3	4	2	37
PEG・PEJ 関係	2	3	2	0	1	3	3	0	0	2	4	2	22
EUS	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
イレウス管	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
バルン拡張	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
EMS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
EVL	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
EUS-FNA	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
小腸内視鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異物除去	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	8

◇下部消化管

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【下部総数】	310	306	316	292	314	295	311	301	302	271	296	324	3,638
止血術	0	0	1	2	0	2	1	1	2	1	0	2	12
EMR・ポリペク	123	115	130	126	117	114	127	122	110	113	119	137	1,453
ESD	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6
EUS	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
イレウス管	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
バルン拡張	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	7
EMS	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
小腸内視鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇膵胆

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【膵胆総数】	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7
ERBD	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5
EST	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
EBL	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
ERGBD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EMS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



統計資料

■ 予防医学センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日帰りドック	253	263	309	267	294	179	277	286	276	214	211	193	3,022
成人病健診	5	13	18	35	62	93	82	22	31	9	2	5	377
脳ドック	3	4	0	6	7	8	3	2	6	3	7	2	51
脳ドック OP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
日帰り+脳ドック	31	27	25	37	29	18	18	32	23	32	34	42	348
成人病+脳ドック	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	4
政府管掌健診	155	179	186	149	108	105	141	114	138	172	194	153	1,794
政管子宮乳癌健診	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	4	9
海外派遣帰国健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
健康診断	65	65	126	73	93	194	158	91	67	73	129	111	1,245
企業2次検査	24	44	73	20	13	11	12	14	13	12	18	11	265
予防接種	12	16	10	6	5	13	162	281	126	8	9	4	652

■ 地域連携課

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	12	4	7	6	12	7	5	6	13	9	8	6	95
消化器内科	34	19	37	15	32	37	30	33	37	25	31	29	359
循環器内科	6	4	4	8	4	10	3	4	7	5	7	7	69
呼吸器内科	1	0	1	3	0	0	1	1	0	1	1	1	10
糖尿病内分泌	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	6
腎臓・糖尿病	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	5
消化器外科	6	8	2	5	6	5	4	5	2	3	6	1	53
整形外科	11	14	10	8	13	13	8	17	8	10	10	10	132
脳神経外科	2	5	3	0	2	4	1	1	2	3	1	5	29
泌尿器科	2	7	1	3	3	4	1	1	1	1	2	1	27
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析・腎不全外来	1	2	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	8
検査：放射線	108	108	99	105	88	93	87	78	73	77	87	81	1,084
検査：超音波	13	14	10	12	14	7	5	16	14	6	10	11	132
検査：内視鏡	222	244	320	276	292	268	297	332	280	207	216	268	3,222
検査：生理検	19	26	22	19	6	10	2	9	14	8	15	12	162
入院：一般	5	2	4	4	8	4	0	3	7	8	7	1	53
入院：療養	3	5	4	2	5	2	1	0	2	2	4	4	34

あしがき

前年度と比較すると新型コロナウイルス感染症の患者数は外来、入院および職員感染の患者数も減少したとはいえ、2023年8月には院内クラスターが発生し、多くの職員も罹患する状況となりました。しかしながら、日頃からの感染防止対策への取り組みやその他の職員の協力を得ながら、それ以上の感染拡大を防止し、病棟運営も厳しいながらも乗り越えることができました。職員の皆様、また、ご協力を頂きました皆様方にこの場をお借りいたしましてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、最近の医療は医療従事者不足、働き方改革、高齢者社会、医療費の高騰、情報共有とデジタル化の遅れの5点が問題点としてあげられております。当院並びに周辺の病院におきましても医療従事者不足、特に看護師不足は顕著にあらわれております。医療従事者の確保は当院にとって重要課題のひとつであるといえます。今後益々、働き方改革をはじめとした人手の確保や業務の効率化を含む包括的な対策に取り組んでいきたいと思っています。高齢の患者様にも安心して受診して頂ける環境を構築することも重要な課題と考えます。

病院単体だけでなく介護サービスを含めた法人全体で地域の医療、介護を支えていきたいと思っておりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。

最後になりましたが、この年報を作成するにあたりましてご協力頂きました皆様方に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

医療法人友仁会 友仁山崎病院
事務長 中岡 克宏